



もんぜんろくちょう

タイトルの3つの色は、鬼すべの際の誓固・鬼係・燻手の法被の色をイメージしたものです。

今回は、太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会において議論している多くの課題の中で、平成27年度に整備事業に着手する予定にしている小鳥居小路の魅力づくりの取り組みについてお知らせします。

小鳥居小路・溝尻の社会環境調査

現在、太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会では、JA ゆめ畑がある交差点から幸ノ元井堰までの約1kmについて、太宰府天満宮を核とした旧宰府宿の歴史的風致の維持向上を目的とし、地域の魅力づくりに取り組んでいます。

この中で、太宰府市の個性の一つである「太宰府天満宮門前の生活にみる歴史的風致」を維持向上し、新たな通りの魅力づくりを考えるにあたって、平成25年度に小鳥居小路から溝尻に至る市道（小鳥居小路支線ほか）について、現状を知るために交通量調査など社会環境に係る調査を行いました。

調査結果は、通りにお住まいの方々と小鳥居小路から溝尻に至る市道について、平安時代からつづく水路を魅力づくりの素材として、水路の蓋を開けた場合の観光資源としての可能性や、通りに点在する恵比須さまなどの文化遺産の活用の可能性を考える資料のひとつとしました。

●調査期間

調査期間は、一年の多くを占める平常時（年



図1. 小鳥居小路の現状



図2. 社会環境調査の範囲

末年始を除いた時期) の状況を考えるため、以下の期間と時間帯で実施しました。(年末年始の繁忙期には、通行誘導など特別な対処が必要となりますので、平常時を調査しました。)

【調査期間・時間】

調査期間

平日：平成25年7月3日～7月10日

休日：平成25年7月20日・21日

調査時間

7:00～20:00 (13時間)

●調査項目

調査項目は、通りに関する情報を収集するため、通りを通過する人・自転車・自動車の数、ガス管などの埋設物状況など12項目について調査を行いました。中でも、平清盛の時代まで遡ることができる小鳥居小路に沿う水路を、小鳥居小路の魅

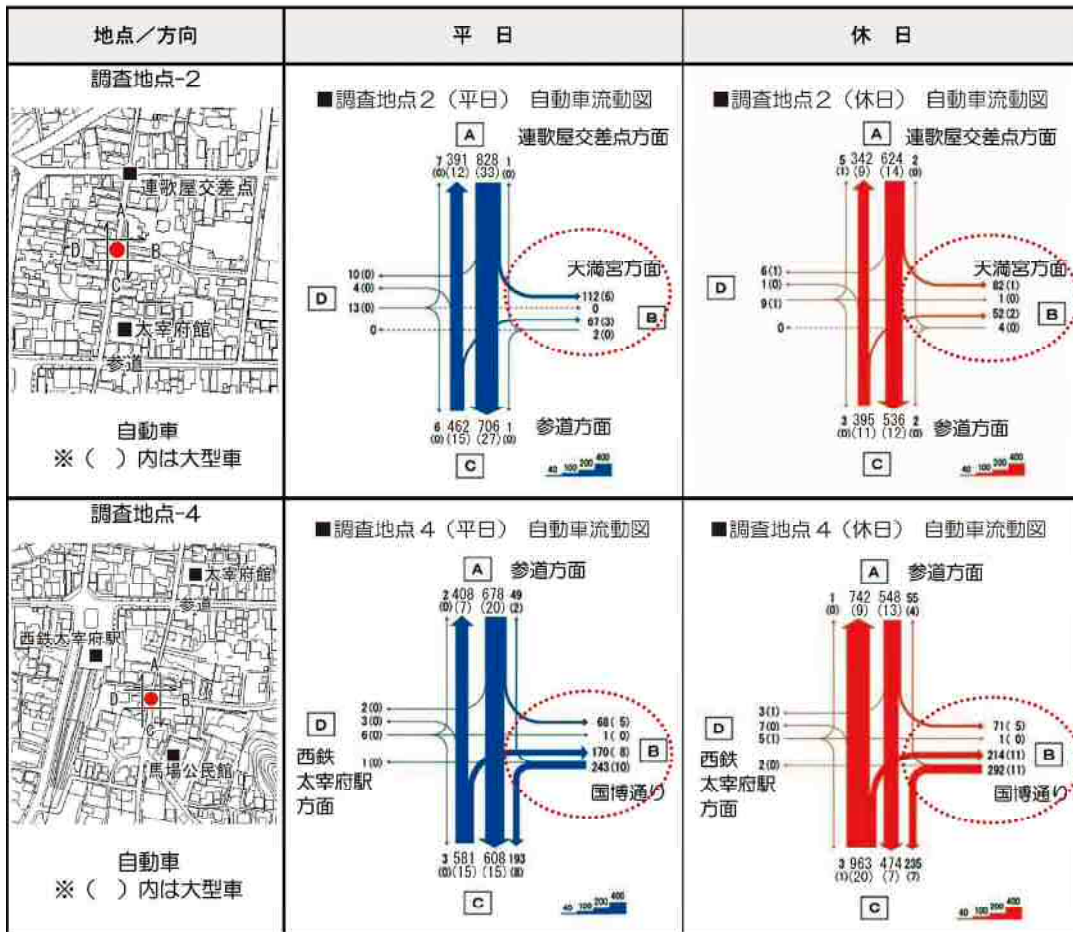


図3. 調査地点2・4における自動車の流れ

力の一つとして活かすことは、昨年からの通りの住民の皆さんと取り組んできた、「魅力づくりワークショップ」の中でも取り上げられ、水路の活用方法について、石蓋を開けた水路の活用を考えると、小鳥居小路に行き交う人々・車両の状況は考慮すべき大事な要素となってきました。

そこで、連歌屋交差点から参道、そして溝尻までの区間で5ヶ所の調査ポイントを設置し、人、自転車などの自転車、バイク・自動車などの車両の通過台数を数えました。

●調査結果

調査した結果、連歌屋交差点から小鳥居小路へ進入する車両数が、そのまま溝尻から連歌屋交差点に行く車両と同数ではないことが分かりました。これは、区内内を行き来のために通る車両ばかりでなく、小鳥居小路を通過し、他方面に向かう車両が5割近くを占めていることを表しています。また、調査を実施した小鳥居小路から溝尻の区間において、来訪者の多くは参道から小鳥居小路へ流入してくる散策者でした。平成26年の太

宰府への来訪者は、一昨年の760万人を超え、800万人の人々が訪れており、この調査を実施した平成25年からすると小鳥居小路を歩く人々の数が増加していることが十分考えられます。

●調査結果を受けた取り組み

今回報告しました小鳥居小路から溝尻の車両や人々の通行情報は、今後の小鳥居小路の魅力づくりにとって重要な課題を提示してくれました。現在、小鳥居小路にある水路の

活用について、通りにお住まいの方々と様々な場面で意見を交わしています。市が進める道路・水路整備事業を単に整備工事で終わらせるのではなく、住んでいる方々が活用しやすい姿につくるために、お住まいの方々は、より良い方向性を見出すための話し合いに参画していただき、議論を深めていきたいと思ひます。



今年の初老梅あげの様子【小鳥居小路にて】

もんぜんろくちょう お知らせ3
 編集・発行 太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会
 【事務局 太宰府市建設経済部
 都市計画課 景観・歴史のまち推進係】
 発行日 平成27年3月31日